講義名	教養特講Ⅰ（歴史学）					授業形態	
担当教員	小野　達哉	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 ３時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	FYE110

主題と概要

「旅から見た世界史」をテーマとして、古代から近代までの歴史を通観する。人々は古来より旅をしてきた。それは大部な旅行記や報告書を残した著名人であったり、商人や労働者として移動した無名人であったりと様々だが、いずれの旅も異文化との接触・政治経済上の交渉という点で、個性的な記録となっている。この講義では古代から近代まで、アジア・ヨーロッパを往来して活動した人々の軌跡をたどる。現代の私たちは、誰もがごく普通に、かつ頻繁に海外へ行き来する時代に生きているが、それは歴史上の旅行者たちの活動から始まったものである。学生の皆さんには最終的に、この「旅から見た世界史」を通じて、自分の現在の生活とも直接つながる問題を見つけ出してほしいと願っている。

到達目標

①世界史の基本事項について理解し説明できる。
②世界史上の異文化接触について理解し説明できる。
③世界史上の政治経済交渉について理解し説明できる。
④世界史の流れの上に現代の生活があることを理解し説明できる。

提出課題

毎回授業時に実施する小テスト

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業時におこなう小テストで、学生の講義の理解度を確認し、それに必要に応じてコメントを付して返却するつもりである。

評価の基準

毎回授業時の平常点と、期末試験の総合評価とする。毎回授業時の課題提出だけでなく、学期末に定期試験を実施するので、その旨注意されたい。

履修にあたっての注意・助言他

この講義は予備知識は必要としないので、その点は安心して受講してくれてよい。ただし、日本史・東洋史・西洋史を問わず、歴史全般について関心を持ってもらいたいと思う。

教科書

.使用しない.				

参考図書

.なし.				

その他

講義ではプリントを使用する。参考文献は授業時に随時指示する。

授業計画

【第1回】
ヘロドトス『歴史』にみる旅
【第2回】
司馬遷『史記』にみる旅
【第3回】
『歴史』『史記』にみる遊牧騎馬民族の世界
【第4回】
張騫のシルクロード開拓の旅
【第5回】
玄奘のインド求法の旅
【第6回】
『エリュトゥラー海案内記』と『シナ・インド物語』の世界
【第7回】
マルコ=ポーロの大世界旅行
【第8回】
イブン=バットゥータの大世界旅行
【第9回】
ヴァスコ=ダ=ガマのインドへの航海
【第10回】
東インド会社とアジア貿易
【第11回】
コロンブスの新大陸への航海
【第12回】
「コロンブスの交換：ヨーロッパと新大陸
【第13回】
『八十日間世界一周』世界の一体化と高速化
【第14回】
イザベラ=バードの中国・日本紀行
【第15回】
まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【第1回～15回】
①予習：前回の講義時に示した授業のキーワードを辞書等で調べておく（120分程度）。
②復習：プリントの見直し、穴埋め内容の確認をする。返却を受けた小テストを解き直す（120分程度）。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

全学対象の教養科目であるため、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身に着けておくべき資質・能力」(1)～(5)の習得を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業は学生に随時発問しながら進めるが、特段ICTを活用することはない。

実務経験の有無及び活用

なし

備考

なし